



Annual Report 2022

一般社団法人エル・システムジャパン 活動報告書 2022.4-2023.3



ごあいさつ

10周年を迎えたエル・システマジャパンにとっての2022年度は、コロナ禍に依然振り回されながら、既存の活動に加えて、東京事業の再編、関西2か所での新たな拠点の開設、作曲教室の再開と、激動の1年となりました。幸いなことに、これも、国内外の皆様からのあたたかく継続的なご支援により可能になりました。心より感謝申し上げます。

復興支援という枠組みだけでなく、誰にも開かれた放課後の居場所、働き方改革による部活動の将来、住む場所によって存在する文化芸術へのアクセス格差といった、日本の今の社会課題に取り組むこと。そして、障害、性的指向、外国にルーツを持つことによって日々の生活に制約を受けている子どもが、そのままいられ、自己表現をすることがますます大切になってきていると実感しています。

そうした中、さまざまな背景を持つ子どもたち一人ひとりに向き合うエル・システマの活動に関わる指導者、関係者にとって欠かせない信条(クレド)として、「喜び」、「ケア」、「尊厳」、「芸術性」、「責任」を選びました。参加する子どもたちが、喜びを感じられ、ケアの精神に溢れた環境に囲まれ、尊厳が守られ、芸術性の高みを追求できるような学びの場が必要で、その実現のために、指導者や関係者が責任を負っているのです。

今年度からは、神奈川県、東京都の6つの児童養護施設でバイオリン教室を実施されていた音楽支援ボランティア団体「弦楽りぼん」の一部事業を協働する形で、社会的養護下にある子どもたちにも豊かな芸術環境を提供していきます。

引き続き、さらに活動の視野を広げていく私たちの挑戦を見守って応援をいただければ幸いです。



エル・システマジャパン 代表理事
菊川 稔

【略歴】

1971年神戸生まれ。95年ロンドン大学ユニバーシティカレッジ卒業。96年同大学教育研究所政策研究修士課程終了。その後、98年よりユネスコ 南アフリカ事務所にて教育担当官。2000年よりユニセフ レソト、エリトリア事務所において、青少年、子ども保護、およびエイズ分野を担当。07年より日本ユニセフ協会にて勤務。11年3月より東日本大震災緊急支援本部チームコーディネーターとして支援活動を指揮。12年3月に一般社団法人エル・システマジャパンを設立、代表理事に就任。

Annual Report 2022

活動報告書 2022.4-2023.3

- 01 ごあいさつ
- 02 2022年度の活動状況
- 04 相馬子どもオーケストラ&コーラス
- 06 大槌子どもオーケストラ
- 08 駒ヶ根子どもオーケストラ
- 10 東京子どもアンサンブル
- 12 豊中みんなの音楽教室
- 14 舞鶴子どもコーラス
- 16 作曲教室・さまざまなイベント
- 18 広報活動
- 20 ご協力のお願い
- 22 会計報告
- 24 ご協力・ご支援をいただいた皆様

※学年・年齢の表記は当時のものです

南米ベネズエラで始まった社会変革を目指した音楽教育「エル・システマ」

1975年に始まった活動は、シモン・ボリバル音楽財団によって展開され、現在、約100万人の子どもたちがベネズエラ国内の約300のオーケストラ&コーラスに参加しています。その理念に共感した活動は、世界70か国以上の国、地域に広がり、それぞれ、地域の特性や社会環境に応じて独自に発展し、展開されています。

2022年度の活動状況

少子化の影響で部活動に参加する子どもたちも減っており、特に地方部ではその影響が顕著です。エル・システムジャパンは、地域に開かれた音楽活動を行うだけでなく、学校への支援も行うことで、より多くの子どもたちが芸術や音楽にふれる機会をつくっています。また、障害のある子どもたちが自分らしく表現することを大切に音楽活動も行っています。

音楽監督：岡崎明義（吹奏楽2022年度まで）
木許裕介（オーケストラ）
古橋富士雄（コーラス）

エル・システムジャパンは、3つの支援策を柱に、各地やグループの状況に応じた支援を行っています。

- 1 直接的な支援
(子どもオーケストラ、子どもコーラス、作曲教室)
- 2 学校を通じた支援
(部活動支援、音楽授業支援、専門家の派遣)
- 3 総合的な支援
(楽器の購入・修繕・無償貸与)

学校での支援などを含めて、エル・システムジャパンが支援した子どもたち
約 2,400人

相馬子どもオーケストラ&コーラス

協力協定：福島県相馬市



| 週末音楽教室参加者数 | 2023年3月現在 | |
|------------|-----------|------|
| | オーケストラ | コーラス |
| 小学生 | 28名 | 4名 |
| 中学生 | 21名 | 1名 |
| 高校生 | 19名 | 3名 |
| 合計 | 68名 | 8名 |

| 日々の活動 | 学校への支援 |
|--|-------------------------|
| 管楽器教室、弦楽器教室(初級)、弦楽器教室(中上級)、弦楽器自主練習会、コーラス教室を 各週1回 | 相馬市内小学校：9校 |
| 学校への部活動支援として、バイオリンの出張指導を 週2回 | 練習場所 相馬市民会館など：5か所 |
| | 支援人数(学校への支援を含む) 約2,000名 |

大槌子どもオーケストラ

協力協定：岩手県大槌町



| 週末音楽教室参加者数 | 2023年3月現在 | |
|------------|-----------|------|
| | オーケストラ | コーラス |
| 小学生 | 26名 | 0名 |
| 中学生 | 2名 | 0名 |
| 高校生 | 0名 | 0名 |
| 大人 | 5名 | 0名 |
| 合計 | 33名 | 0名 |

| 日々の活動 | 部活動支援 |
|--------------------|----------------------|
| 弦楽器教室を 週4回 | 町内の小中一貫校：2校 |
| 学校への支援 町内の小中一貫校：2校 | 練習場所 町内の子ども向け施設など：4校 |
| | 支援人数(学校への支援を含む) 約50名 |

駒ヶ根子どもオーケストラ

協力協定：長野県駒ヶ根市



| 週末音楽教室参加者数 | 2023年3月現在 | |
|------------|-----------|------|
| | オーケストラ | コーラス |
| 小学生 | 42名 | 0名 |
| 中学生 | 14名 | 0名 |
| 合計 | 56名 | 0名 |

| 日々の活動 | 練習場所 |
|---------------------------|--------------------------------|
| グループレッスンと弦楽器教室(金・土曜)を 月3回 | 駒ヶ根市赤穂公民館 駒ヶ根文化会館 |
| | 支援人数(イベントでの楽器体験参加者などを含む) 約200名 |

東京子どもアンサンブル

共催：東京芸術劇場 後援：板橋区教育委員会、豊島区教育委員会



| 週末音楽教室参加者数 | 2023年3月現在 | |
|------------|-----------|------|
| | オーケストラ | コーラス |
| 小学生 | 14名 | 0名 |
| 中学生 | 4名 | 0名 |
| 高校生 | 2名 | 0名 |
| 合計 | 20名 | 0名 |

| 日々の活動 | 練習場所 |
|-------------|-------------------|
| コーラス教室を 週1回 | 東京芸術劇場 板橋区、豊島区の施設 |
| | 支援人数 20名 |

豊中みんなの音楽教室

協力協定：大阪府豊中市



| 音楽教室参加者数 | 2023年3月現在 | |
|----------|-----------|------|
| | オーケストラ | コーラス |
| 小学生 | 23名 | 0名 |
| 合計 | 23名 | 0名 |

| 日々の活動 | 練習場所 |
|---|--|
| 豊中市立庄内さくら学園(2022年度は統合前の庄内・野田小学校内と島田小学校) | 豊中市立庄内さくら学園(2022年度は統合前の庄内・野田小学校内と島田小学校内) |
| 「まちごと暮らスクール」内「弦楽器教室」 | 支援人数 23名 |

舞鶴子どもコーラス

協力協定：京都府舞鶴市、田中彩子舞鶴市文化親善大使



| 週末音楽教室参加者数 | 2023年3月現在 | |
|------------|-----------|------|
| | オーケストラ | コーラス |
| 小学生 | 23名 | 0名 |
| 中学生 | 12名 | 0名 |
| 高校生 | 14名 | 0名 |
| 合計 | 49名 | 0名 |

| 日々の活動 | 練習場所 |
|-------------|-----------------------------|
| コーラス教室を 週1回 | 舞鶴市総合文化会館小ホール、舞鶴商工観光センター など |
| 特別顧問 田中彩子 | 支援人数 49名 |

作曲教室

共催：一般社団法人CoAr 後援：沖縄県読谷村



| 作曲教室参加者数 | 2022年10月15、16日 | |
|----------|----------------|--------|
| | 10月15日 | 10月16日 |
| 未就学児 | 7名 | 6名 |
| 小学生 | 12名 | 15名 |
| 中学生 | 3名 | 3名 |
| 合計 | 22名 | 24名 |
| 総計 | 46名 | |

| 場所 |
|-------------------------|
| 沖縄県読谷村海のテラスよみたん都屋多目的ホール |
| 監修 藤倉大 |

相馬子ども オーケストラ & コーラス

相馬子どもオーケストラ&コーラスの1年は、4月の「Tokyo Cantat 2022オープニングコンサート」での東京子どもアンサンブルとの合同演奏で幕を開けました。久しぶりの東京の仲間との共演と東京での演奏披露は、地域をまたいだ移動や交流から遠ざかっていた相馬の子どもたちにとって、改めて音楽が運ぶ仲間とのつながりを実感するきっかけになりました。

夏から秋にかけても、市内外で演奏の機会がありました。真夏的那覇市では、交流を続ける那覇ジュニアオーケストラ定期演奏会に代表メンバーが出演。相馬では、世界的クラリネット奏者のストルツマンさんによるマスタークラスとミニコンサート、100人のお客様を集めた各教室の発表会、地元の音楽イベント「SOMA音フェス」への出演など、多彩な経験を経て成長する姿を見せてくれました。

翌3月に開催された「第8回エル・システマ子ども音楽祭 in 相馬」。中村第一・中村第二・向陽中学校各吹奏楽部の元気なサウンドに続き、子どもコーラスが合唱組曲「小さな目」(湯山昭作曲)、そしてロジャーズの「サウンド・オブ・ミュージック」を披露しました。英語詞、おのおののソロパート、ミュージカルさながらの振付など、子どもコーラスならではの楽しく魅力あふれる会心のステージに、万雷の拍手が送られました。

子どもオーケストラは、チャイコフスキー、バルトークの弦楽曲に続き、初心者を含む100人のオーケストラで「バイレーツ・オブ・カリビアンメドレー」を大迫力で演奏。メインのブラームスの交響曲第1番は大きな挑戦でしたが、子どもたちはこの難曲に誠実に向き合い、ブラームスの音楽を愛する心をもって演奏を届けてくれました。この音楽祭は2日間ともに過去最多の観客数となり、コロナ禍からの再始動を感じさせる集大成の演奏会となりました。

市内全ての小学校で実施する音楽による学校支援も今年度はほぼ再開し、リコーダー教室、金管教室、木管楽器や邦楽の鑑賞教室などを各学校の希望に応じ実施することができました。



©FESJ2023/YasutakaEida



©FESJ2023/YasutakaEida



©FESJ/2022



©FESJ2023/YasutakaEida



©FESJ/2022



©FESJ2023/YasutakaEida



大槌子ども オーケストラ

大槌子どもオーケストラは昨年度に引き続きオンラインレッスンと、コロナ緩和により可能となった対面レッスンの2つを活用して練習に取り組みました。子どもたちはオンラインレッスンに加え、対面レッスンだからこそ得られる多くのことを吸収し、何度も繰り返し練習したり、レッスンで言われたことを楽譜に書き込んだり、分からなかった所を進んで質問したりとより積極的にレッスンを受ける姿勢がみられるようになりました。

今年度は、音程や弓順を揃えること、音を出す前に息を吸うことを意識すること、演奏を始める前に何に注意したいのか考えることを目標に練習に取り組みました。練習する中で一人ひとりが自分の課題に真剣に向き合い、難しい所は上級生が率先して、子どもたち同士で教え合いながら練習に励む様子が多くみられました。

発表の機会として、6月に「おしゃっち4周年記念イベント」8月に「浪板ビーチフェスタ2022」に出演させていただき、そして毎年12月に行われている「大槌子どもオーケストラクリスマスコンサート」を無事開催することができました。クリスマスコンサートでは、3年ぶりにロサンゼルス・フィルピオラ奏者のリチャード・エレジノさんのご出演が叶い、演奏する時に大切にすることや、演奏が上手になるコツを教えていただいたり、とても充実した時間を過ごすことが出来ました。

また8月の「響け!復興へのハーモニーin沖縄〜つながる未来〜」には3名が出演し、普段経験ができない大人数のオーケストラの一員としてステージで演奏する楽しさや大変さを体感したり、2023年2月に大阪府豊中市で開催された「世界のしょうない音楽祭」には6名が出演し、新しい拠点の子どもたちと初めて交流し、一緒に演奏できたとてもよい機会となりました。

活動をととして「友達と音楽と一緒に演奏できる喜びや楽しさ」を改めて感じた1年となりました。



駒ヶ根子ども オーケストラ



©FESJ/2022

今年度の駒ヶ根子どもオーケストラは、たくさんのイベントに参加し、充実した1年を過ごしました。

年度初めの4月、駒ヶ根市郷土館にて、「スマイルコンサート」を企画。昨年度延期となり、その後中止になってしまった演奏会のプログラムを披露し、たくさんの拍手をいただきました。その演奏会を皮切りに地元のオーケストラの伊那フィルハーモニー交響楽団の演奏会に賛助出演しオーケストラでの演奏を経験。その後、伊那市文化会館主催のコンサートでは、横山奏さんの指揮でシベリウス作曲の「アンダンテ・フェスティヴォ」を演奏しました。

夏になり、市からの依頼で「社会を明るくする運動」の伊那地区推進研修会にて、駒ヶ根市長をはじめ、たくさんの来賓の前で15分間演奏しました。また、昨年度オンラインにて講座をしていただいたロサンゼルスのエルシステマ(YOLA)の指導者スミス恵美さんが駒ヶ根にいらしていただき、留学の醍醐味のお話や、楽しいワークショップをしてくださいました。心に残る夏の思い出となりました。

9月に入り、「信州駒ヶ根ハーフマラソン」で初めて沿道で生演奏を披露し、走者や沿道で応援している人々を、音楽で応援しました。その合間をぬうように、赤穂小学校、赤穂東小学校、赤穂中学校に通学している子どもたちが、それぞれの学校で子どもたち自ら演奏会を企画し演奏をお友達に披露しました。

そして12月。駒ヶ根市内の公園のイルミネーション点灯式で、たくさんの方の前で演奏し、クリスマスの25日には、昨年中止となっていた「駒ヶ根子ども音楽祭」で、念願の「サウンド・オブ・ミュージックセレクション」を木許裕介先生の指揮で高らかに演奏しました。

内容の濃いあつという間の1年。来年度は、さらに丁寧に子どもたちに寄り添い、充実した演奏会を企画したいと思います。



©FESJ/2022



©FESJ/2022



©FESJ/2022



©FESJ/2022



**KOMAGANE
CHILDREN'S
ORCHESTRA**
駒ヶ根子どもオーケストラ

東京子ども アンサンブル/ クリエイティブ・ ワークショップ

東京子どもアンサンブル

4月より東京子どもアンサンブルという新たな名称へと変わり、子どもたちは合唱を通してさらに大きく成長し、新しい一歩を踏み出した1年でした。4月には、合唱文化の振興を目指して毎年開催されている「Tokyo Cantat 2022 オープニングコンサート」において、未来を担う子どもたちのステージに出演。「あめつちのうた」を相馬子どもオーケストラ&コーラスと共演し、相馬の子どもたちとの久しぶりの交流が実現しました。7月には「リチャード・ストルツマン80歳記念スペシャル・バースデー・コンサート」にゲスト出演し、世界的に活躍するストルツマンさんと共演を果たすなど、上半期は貴重なステージでの発表の機会をいただきました。

そして12月に、東京の子どもたちにとって初めての経験となる、「東京子どもアンサンブルはじめてのこんさーと『クリスマスの贈り物』」を開催しました。子どもたちにとっては大きな大きな挑戦でもありましたが、一人ひとりが自分の課題に向き合いながら練習を重ね、初めてのソロパートに挑戦するなど、満員のお客様の前で歌った経験は大きな自信に繋がりました。なにより、「緊張よりも楽しさや感動のほうが勝った」と口々に語る子どもたちの姿が、その大成長を物語っていました。開催にあたっては、クラウドファンディングも実施し、多くの皆様の応援とご支援のもとに実現したこのコンサート。子どもたちにとってこれまでにない大切な思い出となり、次なる目標への原動力となっています。

クリエイティブ・ワークショップ

ろう学校教員を対象に、「ろう者の視点を取り入れた、ろう学校の『音楽』授業づくり」ワークショップを2月に開催しました。ろうコミュニティの中で発展しつつある「ろう者のオンガク」という、まだ新しいこの芸術を、将来育てていくであろう、ろうの子どもたちや若い世代の人々に伝えていくため、そして彼らが自分でオンガクを生み出す楽しさやその力を育てていくための、たしかな一歩となりました。



**TOKYO
CHILDREN'S
ENSEMBLE**
東京子どもアンサンブル



©FESJ/2022



©FESJ/2023



©EESJ/2022



©FESJ/2023



©FESJ/2023



©FESJ/2023

豊中みんなの 音楽教室

豊中みんなの音楽教室は、エル・システマジパン5か所目の拠点であり、豊中市の主催事業として、日本センチュリー交響楽団協力のもと、「誰もが無料で参加でき、仲間とともに楽しく学べる弦楽器教室」をコンセプトに2022年10月にスタートしました。

豊中市は、人口減少や少子高齢化が進む豊中市南部地域（名神高速道路以南の地域）の活性化を目指し、庄内地域における「魅力ある学校づくり」やそれに伴い発生する学校跡地の活用、庄内コラボセンターの開設に向けた取り組みなどさまざまな施策を進めています。その一つとして、2023年4月に開校予定の義務教育学校校区の児童を対象に、放課後にまちの要素を学校で体感・参加できるプログラム、子どもたちが自分の「好き」を伸ばせる多様な居場所づくり事業「まちごと暮らスクール@庄内さくら学園」の音楽部門で、豊中みんなの音楽教室が行われることになりました。

2022年7月の夏休み体験会を経て、10月から学校統合に先駆けて、庄内さくら学園校区内の庄内・野田小学校と島田小学校にて、弦楽器教室が始まりました。

2023年2月には、豊中市が主催する「世界のしょうない音楽祭」に参加し、18人のメンバーが初めてのステージに臨みました。バイオリンを手にしてわずか4か月ながら、「きらきら星」や「天国と地獄」よりカンカン、オペラ「リゴレット」より女心の歌の3曲を堂々と演奏したほか、日頃、ご指導いただいている日本センチュリー交響楽団の皆さんともバレエ「くるみ割り人形」よりレバックで共演を行いました。

また、東日本大震災後から続いていた岩手県大槌町との絆、そして全国の皆さんのクラウドファンディング協力から実現した大槌子どもオーケストラとの「カエルの歌」とベートーヴェンの「喜びの歌」の共演は、双方の自治体の皆さんにも見守られながら大成功を収めました。子どもたちはその後の交流会で、同じエル・システマの仲間同士の絆も育み始めたようです。

これからも地域に根差しながら、子どもたちの音楽活動を進めていきます。



音楽を通して子ども達に生きる力を育むまちづくり協定締結式



舞鶴 子どもコーラス

舞鶴子どもコーラスは、京都府舞鶴市内にある子どもを対象とした複数の合唱団(小学生対象の「まいづる笑顔合唱団」、中高生対象の「Harmony for MAIZURU」)を母体として、2022年6月にスタートしたインクルーシブな音楽活動団体です。歌や音楽が好きな子どもはもちろん、仲間と繋がるきっかけを探している、不登校や発達や身体に障害を抱える子どもたちにとっても居場所となることを目指しています。

経験豊富な地元の指導者の先生方のもと、毎週練習を行っています。舞鶴市出身・ウィーン在住の世界的に活躍しているソプラノ歌手・田中彩子さん(舞鶴市文化親善大使)を特別顧問に迎え、田中さんの帰国時には特別レッスンを行っていただいているほか、エル・システマジャパンの音楽監督(コーラス)である古橋富士雄先生にも定期的にレッスンに来ていただいています。

2022年度は、発足以来、早速、さまざまなコンサートに出演する機会を得ました。地元である、舞鶴市総合文化会館での「舞鶴市民合唱祭」や「舞鶴市戦没者追悼式」といった市の公式行事を始め、オペラの歌曲を歌う市民コンサートへの参加や、京都府長岡京市での東日本大震災復興コンサートにも参加し、子どもたちは歌うごとに舞鶴子どもコーラスへの愛着を深めています。また、12月には、東京子どもアンサンブルのコンサートに相馬子どもコーラスとともに録音出演をし、会場である東京のHakuju Hallのみならず、オンライン配信を通して全国の皆さんに歌声を聞いていただくことができました。

これからも子どもたち一人ひとりが歌を通じて自分を表現できるよう、地域とともに協働していきたいと思います。





©FESI/2022



©FESI/2022

©FESI/2022

©FESI/2022

作曲教室

2013年から福島県相馬市を中心に行ってきた「エル・システマ作曲教室」が、コロナ禍を経て3年ぶりに、初めて沖縄県読谷村・海のテラスよみたん都屋で開催され、10月15日、16日の2日間、各回およそ20人の子どもたちが集まりました。(共催:CoAr)

「希望する人は誰でも無料で参加できる」枠組みを整え、読谷村の未就学から高校生までのすべての子どもたち向けに案内を行ったところ早々に定員となり、キャンセル待ちが出るほどの大盛況となりました。

今回の講師は、この作曲教室の開始以来監修をしてくださっている作曲家・藤倉大さんと日本を代表するホルン奏者・福川伸陽さん。この教室では「作品の良しあしを判断しないこと」「作曲することを一切強制しないこと」という2つのルールを大切にしています。福川さんがホルンの楽器の紹介を詳しく行った後、ロンドンからリモート参加の藤倉さんは会場の大きなスクリーンに映り、福川さんへさまざまな奏法のリクエストをして、楽譜を見ながら記号の使い方を解説。子どもたちはレクチャーを聞いて作曲に取り組み、音符だけでなく、福川さんへのリクエストも書き込んでいました。

いよいよ福川さんによる実演。「トレモロ」や「グリッサンド」奏法をたくさん使った超絶技巧曲、「バルブに水を入れて音を出す」奏法を指定したものや「もよもよした音で」や「動物が暴れている音」といった指定、時折、絵も描いてある子どもたちの想像力がいっぱいだった譜面に福川さんは真摯に向き合っており、その場で、初見で、素晴らしい音にしてくださいました。

この世に一つしかない譜面の世界初演を次々行い、「どうだった?こんなかんじかな?」と福川さんが、作曲者の子どもに訊ねると、「完璧でした!」と明るく答えてくれる子ども、うんとうなずいて、嬉しそうに席に戻る子ども、といろいろなアクションが見られましたが、みんな満足そうな様子がかがえました。

2023年度も全国各地で、作曲教室の開催を予定しています。日本各地の子どもたちが「生まれながらにクリエイティブであること」を感じられるこの教室に親しんでくれることを期待します。

2022年度も さまざまなイベントを 開催しました

10周年を迎えたエル・システマジャパンは、2022年度、例年よりも多くのイベントを開催する機会に恵まれました。7月12日には、伝説のクラリネット奏者リチャード・ストルツマンさん、パートナーでマリimba奏者のミカ・ストルツマンさんとの特別企画「リチャード・ストルツマン80歳記念スペシャル・バースデー・コンサート」を行いました(共催:オザワ・アート・プランニング、白寿ホール)。リチャードさんのソロ演奏、ミカさんやピアニストの小菅優さん、ギター鈴木大介さんとの共演、そしてご夫妻と親交のあるロバート・キャンベルさんのナビゲートのもと、リチャードさんにお話もいただきました。アンコールでは、東京子どもアンサンブルと「アメージンググレース」を共演、客席からは惜しめない拍手が送られました。

7月19日には、ロサンゼルス在住のパーカッションリストで、カリフォルニアの大学やロサンゼルス市のエル・システマ団体 YOLA (Youth Orchestra Los Angeles) で指導者としても活躍されているスミス恵美さんのトークセッションが行われました(共催:公益財団法人音楽文化創造・一般財団法人ヤマハ音楽振興会)。会場のヤマハ目黒センターとオンライン、あわせて100人を超える皆さんにご参加いただく中、スミスさんは、YOLAのなりたいたちやカリキュラム、子どもたち、またYOLAを指揮するグスターボ・ドゥダメルさんの話などを動画を変え、参加者の皆さんと会話をしながらお話しくださいました。

7月後半から8月上旬にかけて、エル・システマ出身で世界を代表する指揮者の一人であるドゥダメルさんが共同責任者を務めるドゥダメル財団とロサンゼルス・フィルが主催する「Encuentros LA 2022」に、相馬子どもオーケストラ出身で現在はエル・システマジャパンの弦楽器指導者である佐藤花音が参加しました。世界22か国のエル・システマやユースオーケストラの若手音楽家たち120人で編成されたオーケストラは、ドゥダメルさんをはじめ、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロサンゼルス・フィルといった世界一流の楽団のアーティストから集中指導を受け、8月2日には有名な野外音楽堂であるハリウッド・ボウル、8月4日にはカリフォルニア大学バークレー校でコンサートを行い、大成功を収めました。

日本からは唯一、そして、日本の若手音楽家がこのプログラムに招待されるのは、佐藤が初めて。貴重な経験をシェアしようと、9月28日には、佐藤花音帰国報告会「世界22か国120人の若手音楽家によるオーケストラに参加して」を開催しました。約1時間の報告の中では、7年ぶりの再会となったドゥダメルさんとの共演や指揮について、また世界中からこのプログラムのために集まった講師から学びこれからの指導に生かしたいこと、世界から集まった仲間たちとともに乗り越えたリハーサルや本番中に感じていたことなども随時写真や動画をまじえてお届けしました。



©FESI/2022

©FESI/2022



©FESI/2022

©FESI/2022



©FESI/2022

©FESI/2022

©FESI/2022

広報活動

エル・システマジャパンは、現在、公式ホームページ、Facebook、Instagram、X(旧 Twitter)で広報活動を行っています。特にFacebookは、現在週5~7回のペースで投稿、各拠点での活動の様子やイベントのご案内、世界のエル・システマ関連団体のご紹介や支援のご協力のお願いなどを行っています。

コロナ禍での制約も徐々に緩まり、感染に気を付けながらも、イベントも各地で再び行われるようになった1年でした。子どもたちの出演の様子、出演のために練習に励む様子など、写真をふんだんに使いながらご紹介いたしました。

2022年度もTV、新聞、雑誌、Webなどのメディアに取材、掲載いただき、件数は、TV1件、ラジオ2件、新聞16件、雑誌7件、広報誌2件、Web6件でした。

エル・システマジャパンが2022年5月に大阪府豊中市と、6月に京都府舞鶴市と、相次いで連携協定を結んだことは、新聞を中心に各紙で大きく取り上げられました。

相馬子どもオーケストラ出身で、2022年からエル・システマジャパンの弦楽器講師として勤務する佐藤花音の「Encuentros2022」への参加も地元・相馬でたくさんの反響をいただきました。夏に3週間にわたってロサンゼルスで世界22か国120人の青年音楽家たちと共にオーケストラを結成し、世界的指揮者グスターボドゥダメル氏の元、ハリウッドボウルの大舞台上で演奏を成功させたプロジェクトへの佐藤の参加について、3紙にインタビューが掲載されました。

コロナ禍を経て3年ぶりの再開となり、初めて沖縄県読谷村で開催した「エル・システマ作曲教室」は、監修の藤倉大さんがロンドンからリモートで指導する様子や、子どもたちの自由な発想で曲が作られ、ホルン奏者の福川伸陽さんに演奏される様子が、地元・沖縄の子どもの新聞やFM局に取材され、FMでは動画でも収録されました。

また、拠点のある各地の地元の広報誌、地元紙、テレビでも、コンスタントに子どもたちの演奏発表の様子を取材いただいていることは、地元でも活動が浸透していることとして、大変うれしく受けとめています。



メディア掲載

| 掲載日 | メディア区分 | メディア名 | 記事名 | |
|------------------|--------|-------------------------|--|--|
| 2022 | 4月1日 | 雑誌 | 25ans | エル・システマジャパンが「国際交流基金地球市民賞」を受賞 |
| 5月7日 | Web | 相馬市 | 子どもたちの晴れ舞台 第7回エル・システマ子ども音楽祭 | |
| 5月8日 | 新聞 | 福島民友 | 南米発 音楽教育の成果 相馬で開幕 小中高生が合唱 | |
| 5月8日 | 新聞 | 福島民報 | 相馬で子ども音楽祭 きょうまで | |
| 5月18日 | 新聞 | 朝日新聞 | オーケストラが子どもに無償レッスン 大阪で「エル・システマ」導入 | |
| 5月18日 | Web | 時事通信 | 「エル・システマ」と連携協定=弦楽器提供で音楽のまちづくり-大阪府豊中市 | |
| 5月26日 | 新聞 | 朝日新聞(関西版夕刊) | 音楽は平等だ ベネズエラ発「エル・システマ」大阪に拠点 | |
| 6月1日 | 広報誌 | 広報こまがね | 元気なこまがねっ子 エル・システマ発表会 | |
| 6月9日 | 新聞 | 産経新聞 | 子供たちに楽器提供、生きる力に 大阪・豊中市が協定 | |
| 6月26日 | 新聞 | 朝日新聞 | 子どもの音楽教育で協定 舞鶴市、歌手の田中さんと | |
| 6月26日 | 新聞 | 京都新聞 | 舞鶴出身ソプラノ歌手・田中さん 音楽通じ 誇りや夢を | |
| 7月7日 | 新聞 | 産経新聞 | 舞鶴市、合唱通し子供む 世界的歌手・田中彩子さんと連携 | |
| 7月10日 | 雑誌 | ハーモニー | Tokyo Cantat 2022 240光年の響き~来し方・行く末~ | |
| 7月13日 | 新聞 | 福島民報 | ひと 佐藤花音さん(22) 海外の音楽家育成プロジェクト初参加へ | |
| 7月14日 | 新聞 | 福島民友 | 米若手オーケストラに参加へ 相馬出身バイオリン奏者の佐藤さん | |
| 7月20日 | 雑誌 | やくしん | 生きる力を育む音楽教育 子どもたちの成長と地域の活性化を支えたい | |
| 8月1日 | 雑誌 | 情報誌info | 子どもたちに音楽の楽しさを伝えたい 佐藤花音さん | |
| 8月1日 | 広報誌 | 広報まいづる | 「音楽を通して子ども達に生きる力を育むまちづくり」協定を締結 | |
| 8月6, 13, 20, 27日 | ラジオ | Kiss FM | 「森下仁丹 presents バイオ Radio!」 | |
| 8月10日 | 雑誌 | バンドジャーナル | 地域移行の方法を探るエル・システマジャパン(ESJ)の挑戦 | |
| 10月12日 | Web | Crimson Education Japan | 「国内のおすすめ課外活動ガイドブック エル・システマジャパン 活動サポートボランティア」 | |
| 10月15日 | 新聞 | 長野日報 | 児童11人 弦楽器を演奏 赤穂東小 | |
| 10月18日 | ラジオ | FMよみたん | 沖縄で初開催!「エル・システマ作曲教室~変な音を作ってみよう!」 | |
| 10月23日 | 新聞 | 沖縄タイムスワラビー | 変な音 曲になった ホルン奏者福川さんら指導 県内の子 曲作りに挑戦 | |
| 11月27日 | 新聞 | 朝日新聞 | バイオリン名器の「写し」極める 音が奏でる言葉 追い求めて | |
| 12月25日 | ラジオ | 山梨放送 | 「ラジオライトハウス」 | |
| 2023 | 2月15日 | 新聞 | 読売新聞(関西版夕刊) | ええやん!かんさい SDGs未来へ約束 action 夢と元気 みんなで奏でよう |
| 2月23日 | 新聞 | 京都新聞 | 「わくわくしながら合唱つくる体験を」 子どもたちを指導する声楽家の思い | |
| 2月24日 | Web | まっちと北撰 | 豊中市と岩手県大槌町の小中学生が演奏「世界のしょうない音楽祭」2月25日(土)開催 | |
| 3月3日 | 新聞 | 長野日報 | 市の弦楽器教室に参加 赤穂小児童が演奏会 | |
| 3月9日 | 雑誌・Web | シティ情報ふくしま | 相馬市民会館で相馬子どもオーケストラ&コーラスによる、年に一度の音楽祭開催 | |
| 3月22日 | テレビ | IBC岩手放送 | 「ニュースエコー」 3.11に奏でた「希望の音色」コンサートに臨んだ子どもたち/大槌町 | |
| 3月25日 | Web | 相馬市 | 子どもたちの晴れ舞台 第8回エル・システマ子ども音楽祭 | |
| 3月28日 | 雑誌 | リシェス | よりよい社会のために今、考えたい子どもの未来 一般社団法人エル・システマジャパン | |



ご協力のお願い さまざまな形の支援があります。皆様のご協力をお待ちしております。

継続的な
ご支援を!!

ちいさな
音楽家
サポーター
(毎月の寄付)

子どもたちへの長期的なサポートのために、継続したご寄付は大きな支えになります。クレジットカードまたは口座振替で、月々1,000円からのご寄付を承っています(1,000円単位で任意の金額になります)。安定した運営と活動のために、ご協力をお願いします。

活動拠点・事業ごとにご寄付いただけるようになりました。

(相馬子どもオーケストラ&コーラス/大槌子どもオーケストラ/駒ヶ根子どもオーケストラ/東京子どもアンサンブル/エル・システム作曲教室/クリエイティブ・ワークショップ/豊中みんなの音楽教室/舞鶴子どもコーラス/弦楽リぼん・児童養護施設プロジェクト)
こちら毎月1,000円から承っています。

国内最大クラウドファンディングREADYFOR内エル・システムジャパンのプロジェクトページからお申し込みいただけます

<https://readyfor.jp/projects/fesmonthly>

今回の寄付
(単発の寄付)

継続や定額でないご寄付も、お預かりしています。「記事を読んで応援したくなって」「誕生日の記念に」「お返し代わりに」など、個人の方の皆様のタイミングでご寄付をいただいております。クレジットカードやコンビニ、Pay-easyなどオンラインや、銀行口座、郵便口座へのお振込みをお取り扱いしています。

ご支援は以下の口座より承っております

三菱UFJ銀行
玉川支店 普通 0155133 一般社団法人エル・システムジャパン
ゆうちょ銀行
店名 〇一九(ゼロイチキョウ) 口座記号 00180-7
口座番号 359243 シヤ)エル システムジャパン

・振込手数料はご負担願います。
・領収書を希望される方は、お手数ですが、別途、info@elsistemajapan.orgまでお名前、ご住所をお伝えいただけますようお願い申し上げます。
・ゆうちょ銀行口座の場合は、通信欄にお名前、お電話番号、ご住所を記載ください。

楽器の寄贈

エル・システムジャパンでは、オーケストラに参加する子どもたちに無償で楽器を貸与しています。「以前は使っていたけれど今は弾いていない、吹いていない」という楽器がございましたら、ぜひご寄贈をご検討ください。各地の子どもたちが思いを受け継ぎ、大切に使用させていただきます。

コンサートに
いく

各地で開かれる子ども音楽祭やコンサートに、ぜひお越しを!子どもたちの演奏や合唱をどうぞご鑑賞ください。コンサートの情報は、ホームページとFacebookでご案内しています。

ボランティア

弦楽器指導ボランティア(フェロー)、本部サポートボランティア(事務)や広報PRサポートインターンを随時募集しています。

物品や
ポイントによる
協力

読まなくなった書籍やDVDをご寄贈いただき、買い取ってもらうチャリポンや、Tポイントによるご寄付も受け付けています。

ふるさと納税で
の寄付

相馬市ならびに駒ヶ根市へのふるさと納税を通じて、相馬子どもオーケストラ&コーラスまた駒ヶ根子どもオーケストラの活動を支援できます。ふるさと納税では、住民税と所得税の控除を受けられるほか、相続財産の場合は相続税が非課税になります。

詳細や詳しい手順は、ホームページでご紹介しています。

エル・システムジャパン ふるさと納税

企業版
ふるさと納税で
の寄付

地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)を通じて、相馬子どもオーケストラ&コーラスの活動をご支援いただけます。

企業のメリット
・法人関係税の軽減効果が寄付額の最大約9割
・社会貢献(企業としてのPR効果)
・地域資源を活かした新事業展開など
留意事項
・1回あたり10万円以上のご寄付が対象
・相馬市以外に本社(主たる事務所または事業所)がある場合に限る

こちらのQRコード・URLよりエル・システムジャパンのホームページをご覧ください。(Topページ→「支援をする」)
www.elsistemajapan.org



子どもたちの音楽活動を支える多様な支援方法を、ホームページで詳しく紹介しています。

会計のご報告

2022年度も皆様のご支援、ご協力をお寄せいただき、エル・システマジャパンは音楽を通して多くの子どもたちの生きる力を育む事業を行いました。

2022年3月に発生した福島県沖地震や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う制限を乗り越え、相馬や大槌、駒ヶ根など各事業拠点でのコンサートやイベントの開催、創立11年目の新たな事業として、2022年5月には、エル・システマジャパンの西日本初の拠点が大阪府豊中市に誕生し、さらに6月には舞鶴子どもコーラスがスタートしました。10月には沖縄県では初の作曲教室を開催し、子どもたちが音楽の創造性のとびらを開ける貴重な機会を提供できたと思います。

また、12月にはインクルーシブな活動を行う東京子どもアンサンブルが多くの皆様のご支援、ご協力により「はじめてのコンサート」を開催することができました。

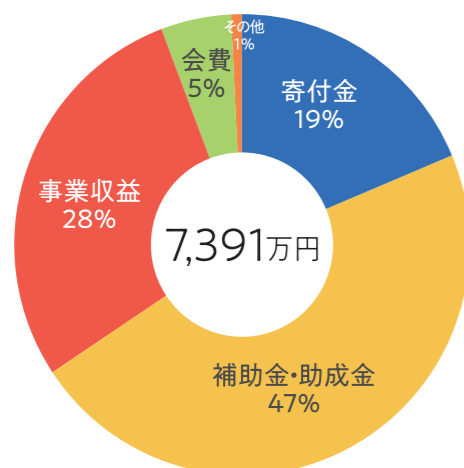
このような状況のもと、今年度の活動のための収入は7,391万円、支出については8,724万円となりました。

支出は、自主練習用ソフトウェア等の減価償却費を含む現地事業費が約8割となります。現地事業での活動の再開や広がりにより、それらを支える管理費も増加しました。収入においては、助成金や補助金に頼るのみでなく、クラウドファンディングや事業別に応援できるマンスリーサポートの設定など多角的な資金調達活動に取り組んでまいりました。しかしながら、世界的なインフレ高進など経済環境が変化の中で今年度は支出が収入を上回る結果となりました。

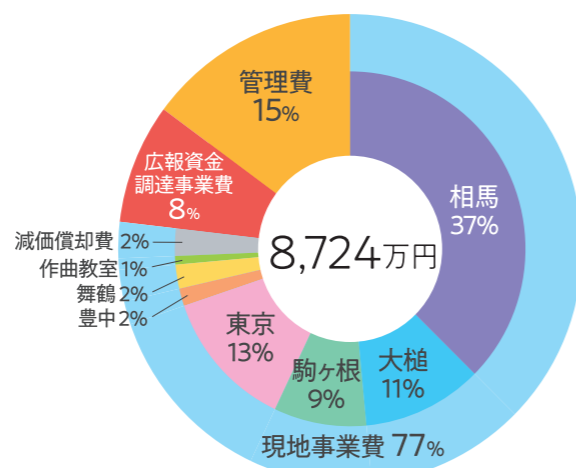
安定した活動を継続し、今後も活動の輪が広がっていくよう、新年度も引き続き資金調達活動や効率的な運営に取り組んでまいります。

今後とも、皆様のあたたかいご支援とご協力をお願いいたします。

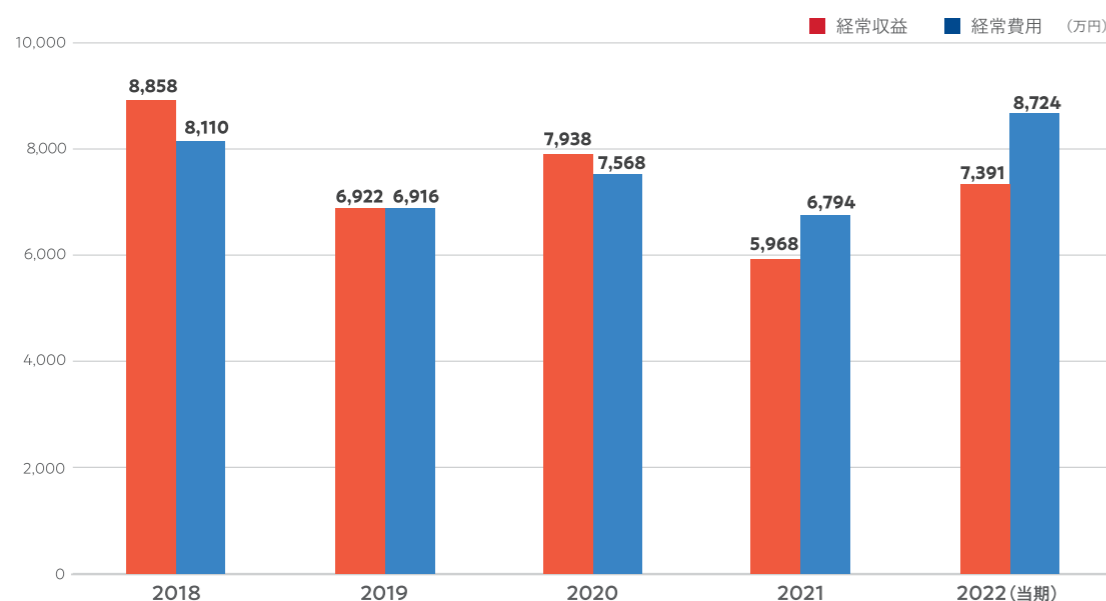
当期収入の内訳



当期支出の内訳



年度別経常収益・経常費用の推移



2022年度 貸借対照表

2023年3月31日現在 (単位:円)

科目 金額

資産の部

| | |
|----------------|-------------------|
| 流動資産 | |
| 現金・預金 | |
| 現金 | 16,747 |
| ゆうちょ 当座 | 451,064 |
| ゆうちょ 普通 | 1,612,330 |
| 三菱東京 UFJ 普通預金 | 978,935 |
| 現金・預金 計 | 3,059,076 |
| 売上債権 | |
| 未 収 金 | 7,123,651 |
| 売上債権 計 | 7,123,651 |
| その他流動資産 | |
| 前払 費用 | 269,896 |
| 仮 払 金 | 32,500 |
| その他流動資産 計 | 302,396 |
| 流動資産合計 | 10,485,123 |
| 固定資産 | |
| 有形固定資産 | |
| 楽器 類 | 6,366,200 |
| 減価償却累計額 | △ 6,366,189 |
| 有形固定資産 計 | 11 |
| 投資その他の資産 | |
| 敷 金 | 850,000 |
| 投資その他の資産 計 | 850,000 |
| 固定資産合計 | 850,011 |
| 資産の部 合計 | 11,335,134 |

負債・正味財産の部

| | |
|-------------|-------------------|
| 流動負債 | |
| 未 払 金 | 20,325,215 |
| 短期借入金 | 7,900,000 |
| 預 り 金 | 854,879 |
| 未払法人税等 | 70,000 |
| 未払消費税 | 641,700 |
| 流動負債 計 | 29,791,794 |
| 負債合計 | 29,791,794 |

正味財産の部

| | |
|---------------|---------------------|
| 正味財産 | |
| 前期繰越一般正味財産 | △ 6,109,018 |
| 前期繰越指定正味財産 | 1,412,711 |
| 前期繰越正味財産額 計 | △ 4,696,307 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 13,474,353 |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 286,000 |
| 当期正味財産増減額 計 | △ 13,760,353 |
| 一般正味財産 | △ 19,583,371 |
| 指定正味財産 | 1,126,711 |
| 正味財産 計 | △ 18,456,660 |
| 正味財産合計 | △ 18,456,660 |

負債・正味財産の部 合計 11,335,134

2022年度 正味財産増減計算書

2022年4月1日～2023年3月31日 (税込)(単位:円)

科目 事業会計 法人会計 合計

I. 一般正味財産増減の部

| | | | |
|------------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 受取会費 | | | |
| 正会員受取会費 | 16,000 | 8,000 | 24,000 |
| 賛助会員受取会費 | 2,444,667 | 1,222,333 | 3,667,000 |
| 受取助成金等 | | | |
| 受取公的補助金 | 0 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 受取公的助成金 | 0 | 570,000 | 570,000 |
| 受取公的補助金振替額 | 32,065,000 | 0 | 32,065,000 |
| 受取民間助成金振替額 | 1,086,000 | 0 | 1,086,000 |
| 受取寄付金 | | | |
| 受取寄付金(個人) | 4,346,952 | 483,903 | 4,830,855 |
| 受取寄付金(企業・団体等) | 6,064,256 | 673,806 | 6,738,062 |
| 受取指定寄付金振替額 | 2,007,000 | 223,000 | 2,230,000 |
| 事業収益 | | | |
| 受託事業収益 | 19,322,890 | 0 | 19,322,890 |
| その他事業収益 | 1,018,467 | 789,284 | 1,807,751 |
| 雑収益 | | | |
| 雑収入 | 528,312 | 36,571 | 564,883 |
| 受取利息 | 0 | 26 | 26 |
| 経常収益計 | 68,899,544 | 5,006,923 | 73,906,467 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | | | |
| 現地事業費(相馬)計 | 32,653,833 | 0 | 32,653,833 |
| 現地事業費(大槌)計 | 9,669,036 | 0 | 9,669,036 |
| 現地事業費(駒ヶ根)計 | 7,445,735 | 0 | 7,445,735 |
| 現地事業費(東京)計 | 11,122,478 | 0 | 11,122,478 |
| 現地事業費(豊中)計 | 1,389,699 | 0 | 1,389,699 |
| 現地事業費(舞鶴)計 | 1,907,486 | 0 | 1,907,486 |
| 現地事業費(作曲教室)計 | 678,376 | 0 | 678,376 |
| 減価償却費 | 2,171,666 | 0 | 2,171,666 |
| 現地事業費計 | 67,038,309 | 0 | 67,038,309 |
| 広報資金調達事業費 計 | 7,227,146 | 0 | 7,227,146 |
| 事業費計 | 74,265,455 | 0 | 74,265,455 |
| 管理費計 | 0 | 12,975,365 | 12,975,365 |
| 経常費用計 | 74,265,455 | 12,975,365 | 87,240,820 |
| 当期経常増減額 | △5,365,911 | △7,968,442 | △13,334,353 |

2. 経常外増減の部

| | | | |
|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | △5,365,911 | △7,968,442 | △13,334,353 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 140,000 | 0 | 140,000 |
| 当期一般正味財産増減額 | △5,505,911 | △7,968,442 | △13,474,353 |
| 一般正味財産期首残高 | △1,532,388 | △4,576,630 | △6,109,018 |
| 一般正味財産期末残高 | △7,038,299 | △12,545,072 | △19,583,371 |

II. 指定正味財産増減の部

| | | | |
|-------------------|----------------|----------------|------------------|
| 受取寄付、補助金等 | | | |
| 受取公的補助金 | 32,065,000 | 0 | 32,065,000 |
| 受取民間助成金 | 800,000 | 0 | 800,000 |
| 受取寄付金 | 2,007,000 | 223,000 | 2,230,000 |
| 一般正味財産への振替額 | | | |
| 公的補助金の振替額 | 32,065,000 | 0 | 32,065,000 |
| 民間助成金の振替額 | 1,086,000 | 0 | 1,086,000 |
| 寄付金の振替額 | 2,007,000 | 223,000 | 2,230,000 |
| 当期指定正味財産増減額 | △286,000 | 0 | △286,000 |
| 指定正味財産期首残高 | 1,086,482 | 326,229 | 1,412,711 |
| 指定正味財産期末残高 | 800,482 | 326,229 | 1,126,711 |

III. 正味財産期末残高 △6,237,817 △12,218,843 △18,456,660



ご協力、ご支援いただいた皆様

ご協力いただいたアーティストの皆様

- 阿部美由花(コーラス)
- 石井忠彦(チェロ)
- 石田彩音(合唱指導)
- 石田深秋(コーラス)
- 伊藤茂(合唱指導)
- 伊藤萌(トランペット)
- 猪又麻衣子(チェロ)
- 岩城美智子(ピアノ)
- 岩田学(作編曲)
- 上杉理香(バイオリン)
- 上田真樹(作編曲)
- 内田和紀(ビオラ)
- 大庫るい(ビオラ)
- 大澤愛衣子(バイオリン)
- 岡崎明義(フルート)
- 岡田大和(トロンボーン)
- 小川和代(バイオリン)
- 小島弥生(合唱指導)
- 鹿田美帆(合唱指導、ピアノ)
- 菅野梓(パーカッション)
- カロリーナ・ウチヤ(バイオリン)
- 川崎美耶子(合唱指導)
- 北湯口佳澄(サクソ)
- 木許裕介(指揮)
- 小菅優(ピアノ)
- 酒井くるみ(バイオリン)
- 坂田優咲(ホルン)
- 櫻井伸泰(トランペット)
- 佐藤俊也(トランペット)
- 佐藤大哉(コントラバス)
- 須藤亜佐子(バイオリン)
- スミス恵美(パーカッション)
- 関谷美紀子(ホルン)
- 千石進(クラリネット)
- 千田真紀(オーボエ)
- 鈴木大介(ギター)
- 臺隆裕(トランペット)

- 高山泰利(パーカッション)
- 零境(舞踏)
- 田中彩子(ソプラノ)
- 玉置ひとみ(コーラス)
- 綱川泰典(フルート)
- 戸田薫(バイオリン)
- 中野紗織(合唱指導)
- 名和俊(コントラバス)
- 西脇将伍(表現者)
- 野間春美(ピアノ)
- 橋本颯一(ビオラ)
- 馬場京子(バイオリン)
- 半澤淳子(ピアノ)
- 檜山知美(コーラス)
- 福川伸陽(ホルン)
- 藤倉大(作曲)
- 舟山式子(チェロ)
- 古橋富士雄(合唱指揮)
- 牧原依里(映画作家)
- 松崎丈(教育心理学・特別支援教育)
- 松嶋聖児(合唱指導、ピアノ)
- 松本日向子(ピアノ)
- ミカ・ストルツマン(マリンバ)
- 三上恭伸(パーカッション)
- 三森知子(ピアノ)
- 向笠愛里(コーラス)
- 持田富士美(ファゴット)
- 山本大(ホルン)
- 山本睦(オーボエ)
- 横田真規子(バイオリン)
- 横山希(ピアノ)
- 吉川真澄(ソプラノ)
- 吉原正教(トロンボーン)
- ラッキイ池田&彩木エリ(振付)
- リチャード・エレジーノ(ビオラ)
- リチャード・ストルツマン(クラリネット)
- ロバート・キャンベル(ナビゲーター)

楽器を寄贈してくださった皆様

- 安部晴子
 - 石田里枝
 - 太田智子
 - 岡崎明義
 - ヴィオラ・ダ・ガンバ工房 L'Arbre
 - 清宮章
 - 長谷川淳子
 - 松浦賢治
 - 山田誠
 - 山本由希子
- <敬称略、五十音順>

ご支援いただいた皆様

- 相澤弥一郎
- 一般社団法人あおい福祉 AI 研究所
- 青柳千尋
- 芦屋国際中等教育学校
- アチーブメント株式会社
- あぶくま信用金庫
- 家子史穂
- 池上彰
- 岩崎慎一郎
- LVMH モエ ヘネシー・ルイヴィトン・ジャパン株式会社
- オアシス楽器店
- 大谷雅子
- 大樋町
- オリエンタルモーター株式会社
- 公益財団法人音楽文化創造
- 春日俊也
- 川原直
- 猪狩明彦
- キッコマン株式会社
- The Dudamel Foundation (ドゥダメル財団)
- gooddo 株式会社
- Global Giving
- 一般社団法人 CoAr
- 小池美喜
- 株式会社コト
- 小林博之
- 駒ヶ根市
- 公益財団法人才能教育研究会
- 佐伯栄一
- 笹森社大
- 株式会社ジェイエア
- ジオアーステクノ株式会社
- 芝崎智子
- 清水道子
- 真如苑
- 相馬市
- 株式会社ソノリテ
- 高橋雅美
- 竹内章子
- 田中バイオリン工房
- 棚澤啓介
- 谷垣陽子
- 津田大介
- つつじ点訳友の会

- 鳥越浩一
 - 公益財団法人東京都歴史文化財団(東京芸術劇場)
 - 社会福祉法人トット基金
 - 豊中市
 - 認定NPO法人 難民を助ける会
 - 仁藤里香
 - 二瓶浩
 - 公益財団法人日本センチュリー交響楽団
 - 日本・ラテンアメリカ婦人協会
 - 日本ろう者劇団
 - ノーベル平和賞を夢みる読谷村基金
 - バッハ平均律を弾く会
 - 早川知彦(早川医院)
 - 株式会社バリューブックス
 - 廣野孝男
 - フェローオーケストラ
 - フォレストホーム株式会社
 - 吹浦房子
 - 福羽泰紀
 - 舟越一郎 (funaco design studio)
 - 文化庁
 - 堀西基
 - 株式会社文京楽器
 - 舞鶴市
 - 増田ユリヤ
 - 万里小路蔵輝
 - 株式会社ミオアンドカンパニー
 - 三尾徹
 - 三星化学工業株式会社
 - ミネ・シュティムメ
 - 株式会社メディアネットワークス
 - 本江博子
 - 文部科学省
 - 安田直史
 - 安測聖司
 - ヤフー株式会社
 - 一般財団法人ヤマハ音楽振興会
 - 読谷村役場/教育委員会
 - The Los Angeles Philharmonic Association (ロサンゼルス・フィルハーモニック財団)
 - 若林直子
- <敬称略、五十音順>

2022年4月1日~2023年3月31日の間に原則5万円以上のご寄付、及びボランティアで各種技術協力をくださった個人、企業、法人のお名前を、ご本人の了承を得た上で掲載しております。



<https://www.elsistemajapan.org/>

f **elsistemajapan**
各地での活動やイベントを、ほぼ毎日更新しています
<https://www.facebook.com/elsistemajapan/>

▶ **El Sistema Japan**
コンサートの演奏をご覧ください
youtube.com/c/ElSistemaJapan

X **@ElSistemaJapan**
<https://twitter.com/elsistemajapan>

📷 **el_sistema_japan**
https://www.instagram.com/el_sistema_japan/

皆様のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます

